

新型コロナウイルス感染症対策 リモートマッチ（無観客試合）ガイドライン（行動指針）

8/12～

(公社)栃木県サッカー協会
栃木県フットサル連盟

このガイドラインは、JFA 及び（公社）栃木県サッカー協会医事委員会が作成したガイドラインを参考に、栃木県フットサル連盟として各チームが現時点で自主的に遵守することが推奨される指針で、おおよその目安で強制力を持つものではありません。

国や県、JFA 等の方針や基準が優先され、最終的には（公社）栃木県サッカー協会が決定する方針や基準が改定された場合は、このガイドラインも柔軟に見直し、修正されるものです。

また、使用施設と連絡をとり各施設の使用条件を遵守し、当面は無観客で大会等を実施していきます。

<チームでの日常活動時のガイドライン>

- 1 日頃からチーム関係者（選手・スタッフ等）の健康管理に努める。
 - 健康チェックシート（大会 2 週間からの起床時の体温測定 体調管理）の作成（別添の本大会用、または県リーグで使用しているもののいずれか）
- 2 活動時に、3 蜜（密閉、密集、密接）を避ける。
 - トレーニング・プレー中以外は、できるだけマスクをつける。
 - ミーティング時にも最低 1m 以上離れる。
- 3 手洗い・うがい、消毒の励行
- 4 飲水やタオル等の共有はしない。
- 5 チームから感染者・濃厚接触者が出た場合は、直ちに連盟役員・各チームに報告する。
 - 発症日、感染ルート等

<大会（リーグ）時のガイドライン>

- 1 使用体育館の使用規定や条件の確認・遵守（運営担当者）
 - 下記資料（施設の使用条件）を参照の上、当日使用申請時に体育館管理者から確認のこと。
 - ① 応援・観客の来場の可・不可 → 当面、観客・応援の入場は不可とされている。
 - ② 更衣室使用の可・不可
 - ③ 会場の換気
 - ④ 観覧席での間隔等
 - ⑤ 利用者名簿の準備（真岡、清原、スケセン、県北は必須）
氏名・住所・連絡先等
- 2 大会当日のチームでの対応
 - ※ 当面の間、無観客試合とし、観覧や応援のためのだけの入場は認めない。
 - ※ 大会登録票・参加申込書に記載された役員・選手の登録者ではなく、試合当日に登録する役員 4 名、選手 14 名、帯同審判 1 名のみが入場できる。
(一日に複数試合に行う場合、試合に出場する選手数が増える場合はこの限りでない。)
但し、中高生が主体のチームは、最小限の送迎者の入場を認める。
また、選手の子で試合当日家庭で保護者のいない幼児については特例で入場を認める。

- 入場者で試合時に、ベンチに入らない者の声を出しての応援は認めない。
- ① 健康チェックシート（別添 チーム・大会関係者用）
 - **大会2週間からの起床時体温の測定、当日までの健康状態をチェックし記入する。**
 - 健康チェックシートの提出（入場者全員）
 - 本部・運営委員長へ チェック後チーム返還
 - 未提出者は入場を禁止。
 - 利用者名簿の提出 → 体育館に指示された場合（県北、真岡、清原、スケセン）
 - 利用者名、住所、電話番号等 各チームで役員・選手一覧を作成すること。
 - ② マスクの着用 プレー中の選手、主審・2審を除く、全員着用。
 - チーム役員はマスクを着用、またベンチにいる交代選手は原則としてマスクを着用。
 - 3審・タイマー、オフィシャル、ボールパーソンはマスク着用のこと。
 - 選手・審判員（主・副審）もプレー中以外は常時着用。
 - ③ 消毒液の準備 各チームで
 - ベンチ交代時や選手の手指の消毒をすること。
 - ④ 3密を避ける。
 - 当面は大会参加申込書に記載された選手・チーム関係者以外の入館を認めない。
入館者は、人との間隔を2m以上（5席以上）空ける。最低1m（2席）
 - 更衣室の使用が認められた場合でも、人との間隔を1m以上とり、できる限り会話を控える。（真岡、スケセンは更衣室使用不可）
 - マネミ時、最低1m以上離れる。握手等はしない。
 - 選手ベンチの椅子は、横は1席空けて、縦に2列にする。（19席を用意）
真岡スポーツ交流館・スケセンは、1つのベンチに2名までとし、隣と1m以上空ける。ベンチに座れない選手が出た場合は、椅子を用意し対応する。
 - オフィシャル席・記録席も間隔を空けるように設置する。（ピッチ作成参照）
 - 試合前のセレモニー 横1列に並んで審判の合図で正面と反対側に礼をする。
自チーム及び相手チーム選手接触禁止。（握手・ハイタッチ・ハグ等）
円陣・写真撮影等の禁止。
 - 試合中
 - 得点時のボディタッチ禁止。
 - 選手交代時、ピブスの手渡しは行わない。おおよそ同じ場所から出入りすること。
 - タイムアウト時も最低1m以上離れる。試合再開前の円陣等の禁止
 - 大声での声援・指示等をしない。
 - 試合後のセレモニー 向かい合って審判の合図で礼をする。
自チーム、相手チーム選手との接触禁止（握手・ハイタッチ・ハグ等）
 - 審判団も控室で密にならないよう十分に留意する。
 - ⑤ 飲水やタオル等の共有の禁止。
 - スクイーズボトルの共用禁止。→ 各自のペットボトルや水筒等を使用。
 - クーラーボックスの使用禁止、どぶ付けも禁止。
← チームとしてペットボトルや水筒等をまとめて入れない。
 - ⑥ 室内の換気に努める。
 - 試合中以外は、窓や出入り口を開放し、換気に努める。
 - 使用中は、窓やカーテン等を開けたままで、プレーをする。（スケセン）

<リーグ・大会関係者から感染者・濃厚接触者が発生した場合>

- 1 直ちに連盟役員・各チームに報告する。
- 2 緊急理事会を開催し、その後の対応を協議する。
 - ① チームから発生情報を収集する。
 - ② リーグ・大会の開催の可否を協議する。
 - ③ 全チームに協議の結果を連絡する。

<警戒度に関する判断基準 指標が悪化した場合>

- ・ 感染観察 上記ガイドラインに従い、リーグ・大会を開催。
- ・ 感染拡大注意 上記ガイドラインにさらに慎重に対応をし、リーグ・大会を開催。
- ・ 感染嚴重注意 法 24⑨により、県または会場よりイベント等の見直しや人数制限がある場合はそれに従い、上記ガイドラインに従い、リーグ・大会を開催。
但し、休業要請が出た場合はリーグ・大会開催中止。
- ・ 特定警戒 法 24⑨及び法 45①により、県から施設に休業要請が出た場合はリーグ・大会開催中止。

本連盟としては、今後も状況を確認しつつ、県や協会の対応等を参考にして、ガイドラインの遵守及び各会場の使用条件等を守って、リーグ・大会を実施していきます。

真岡スポーツ交流館 使用上の注意について（真岡市 HP より）

- 1 使用者は体調確認及び検温を実施してください。
※体調確認及び検温は使用前までに実施し、体調不良の方や発熱がある方は使用を見合わせてください。
- 2 密接にならないように配慮してください。
※競技中は、可能な限り競技者同士が接触しないように配慮してください。
- 3 大声での発声、歌唱、声援、近距離での会話は控えてください。
- 4 こまめな手洗い、アルコール等の消毒液による手指の消毒を実施してください。
※手指の消毒液等は各自持参してください。
- 5 屋内施設については、定期的に（1 時間に 1 回程度）換気を実施してください。
- 6 競技中以外はマスクを着用してください。また、競技中は咳エチケットを徹底してください。
- 7 屋内体育施設内で食事をしないでください。
- 8 競技終了後は速やかに退館してください。
- 9 競技以外に、各競技の協会・連盟等のガイドラインを遵守してください。
- 10 使用者の所在確認として、氏名、住所等を名簿に記載し提出をお願いします。
（会場に用紙が用意されている。） ← 事前にチームで作成したものでよい。

7月29日 スポーツ交流館と電話で確認

- ※ 更衣室使用不可。
- ※ 競技者及び大会関係者以外の入館禁止。

県北体育館

社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（5/14 スポーツ庁）参照
（7月29日 電話で確認）

- 当日の使用前に申請し、使用料金を支払う。
アリーナの照明は無料のサービスで
- 利用者名簿提出。（氏名、住所、電話番号、当日の体温を記入したもの）
- 更衣室の使用は可。ロッカーは 1/2 程度しか使用できない。
- 観覧席は使用できるが、間隔をあけて座ること。
- 試合間に西側の扉を開けて、換気に努めること。